

2014年9月29日

担当：宮崎悠（国際政治、ヨーロッパ政治史）

## 演習について

### 【テーマ】ヨーロッパにおける第二次大戦の負の遺産と歴史教育

#### 【キーワード】

ヨーロッパ政治史、平和とは何か、自由とは何か、歴史認識、紛争・戦争後の和解プロセス

#### 【演習の目標】

- ・目の前で起こっていることについて、資料をもとに意見を構成し、議論できるようになる。
- ・様々な問題について、単にエピソードを知るだけでなく、背後にある構造・枠組を理解できるようにする。

#### 【講読予定文献】

- ・中谷剛『ホロコーストを次世代に伝える：アウシュヴィッツ・ミュージアムのガイドとして』岩波ブックレット、2013年。
- ・芝健介『ホロコースト：ナチスによるユダヤ人大量殺戮の全貌』中公新書、2008年。
- ・フランクル『夜と霧』みすず書房（新旧どちらの訳でも可）。
- ・近藤孝弘『国際教科書対話：ヨーロッパにおける「過去」の再編』中公新書、1998年。
- ・臼杵陽『イスラエル』岩波新書、2009年。
- ・松元雅和『平和主義とは何か：政治哲学で考える戦争と平和』中公新書2207、2013年。

◎注意：文献は全て Amazon 等を利用し安価に購入できるので必ず入手すること。

初回までに全ての文献を手元にそろえていることが望ましい（初回に報告担当文献の割り振りを決めるため）。

#### 【実施方法】

- ・報告者は文献の内容を要約してレジюмеにまとめ、自分のコメントを付して、文献について15分程度の口頭発表を行う。
- ・報告者以外の参加者は、必ず質問を用意し、ゼミに出席する。発言しない場合は出席にカウントしない。一問一答的な質問（単語の意味を問うなど）はしてもよいが、必ず文献の解釈や、著者の主張の内容に関わる質問も併せて用意すること。

◎演習参加希望者は、講読予定文献のうち、松元雅和『平和主義とは何か：政治哲学で考える戦争と平和』中公新書2207、2013年に目を通し、第1章の内容を要約し、自分の見解を付して提出すること（1000字以上1600字以内）。

提出先：[miyazaki.haruka@h.hokkyodai.ac.jp](mailto:miyazaki.haruka@h.hokkyodai.ac.jp)

